

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民小劇場 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
富山市桜町1-1-61

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5 施設概要
①建物の構造 鉄筋コンクリート造(マリエとやま6・7階)
②建物面積 609.18㎡(富山ターミナルビル(株)より賃借)
③施設内容 多目的小ホール(最大200席、200㎡)、会議室(62㎡)
④開設 昭和62年9月

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
13,841	16,358	15,454	16,801	14,287

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R3	R4	R5	R6	R7
6,858	7,862	7,600	8,194	6,874

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R3	R4	R5	R6	R7
9,402	9,402	9,454	9,454	9,454

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価
令和6年度と比較して、一般団体の演劇公演及び音楽公演が減少し、利用者数、利用料金収入ともに減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・ホール利用者に高度な舞台技術を提供できるよう、舞台音響・舞台照明の資格を持つ職員を配置している。
- ・平成25年度から主催者向けに駐車場利用料金割引サービスを実施している。
- ・平成26年度からの利用料金等のクレジットカード、平成29年度からの電子マネー決済対応に加え、令和2年度からは2次元コード決済に対応し、利便性の向上を図っている。
- ・平成30年度にリニューアルしたチケット販売システム「アーツナビ」を活用し、主催事業チケットのインターネットでの決済、コンビニエンスストアでの決済・発券に対応している。
- ・ホールロビー階段、楽屋出演者入り口階段に手すりを増設しバリアフリー化を図っている。
- ・令和7年度から「富山県公共施設予約システム」を活用し、インターネットで施設予約状況の確認及び予約（一部の施設）ができるようになった。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	264人
結果	総合的満足度 95%
結果を踏まえた改善事項	利用者からは概ね満足の声を頂いており、引き続き利用者サービスの向上に努めてもらいたい。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ホームページのお問合せフォームや主催事業開催時のアンケートにより利用者の声を収集している。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報を管理する責任者が決められ、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

- ・平成30年度からロビーに県内観光パンフレットスタンドを設置し、観光PRに取り組んでいる。
- ・富山県公立文化施設協議会の加盟施設と連携協力し、チラシ折込み・設置、ポスター掲示などを互いに行い、主催事業の周知広報を行っている。
- ・富山ターミナルビルの協力により、マリエとやま施設内にポスター掲示を行い、主催事業の周知広報を行っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・舞台や音響・照明設備等の点検チェックリストを作成し日頃から安全点検を徹底している。
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、各種機器の点検を着実に実施している。
・ビル管理者である富山ターミナルビルが年2回実施している自衛消防訓練に参加している。
・指定管理者において作成した熱中症への対応フローを職員に周知するなど、熱中症対策の強化を図った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
③個人情報に関するトラブルの有無
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
無	—
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・利便性のよい立地や床面の高さを多分割で調整できる機能を活かし様々なニーズに対応できる施設の特徴を積極的にPRし、新たな利用者の開拓などの利用促進に取り組んでもらいたい。
・引き続き、小劇場空間の利点を活かした魅力ある企画事業（発見ライブ等）を実施し、県民が身近に芸術文化に触れられる機会の提供に努めてもらいたい。